

劇症型／重症溶血性レンサ球菌感染症患者由来株の薬剤感受性と耐性株の遺伝子型の解析

池辺忠義, 渡辺治雄, 平沢恭子, 田中大祐, 鈴木理恵子, 勝川千尋,
河原隆二, 富田正章, 緒方喜久代, 遠藤美代子, 奥野ルミ

病原微生物検出情報, 25, 254~255, 2004

1992年~2003年に分離された劇症型／重症溶血性レンサ球菌感染症由来株211株についてエリスロマイシン, クリンダマイシン, アンピシリン, イミペネム, セフォタキシム, シプロフロキサシン, テリスロマイシンの7種について薬剤感受性試験を行い, 耐性株の遺伝学的特徴について検討した. 全ての株は, アンピシリン, イミペネム, セフォタキシムに対して感性であった. 一方, エリ

スロマイシン, クリンダマイシン, テリスロマイシン, シプロフロキサシン耐性株は, それぞれ3.8%, 1.4%, 1.4%, 及び0.5%存在した. また, シプロフロキサシンに対する低度耐性株が10.4%認められた. エリスロマイシン耐性の8株のうち, 2株は*ermA*遺伝子を, 3株は*ermB*遺伝子を, 残りの3株は*meF*遺伝子を保有していた.

The Genetic Properties of *Streptococcus pyogenes emm49* Genotype Strains Recently Emerged among Severe Invasive Infections in Japan

Tadayoshi IKEBE, Miyoko ENDO, Yuka UEDA, Kyoko OKADA, Rieko SUZUKI,
Takeshi MINAMI, Hiroshi TANAKA, Norihiko NAKANISHI, Masaaki TOMITA,
Hiroyuki NISHIE, Noriko ISHII, Emi SASAKI, Yuji MIURA, Toru YAMAMURA,
Haruo WATANABE

Jpn J Infect Dis., 57, 187~188, 2004

2000年以降, それまで検出事例の無かった*emm49*を保有する劇症型A群溶血レンサ球菌が5株分離された. これら5株の発赤毒素遺伝子の保有状況について解析したところ, *SpeB*遺伝子は全株が保有していたが, *SpeC*遺伝子は

いずれの株も保有していなかった. また, 4株は*SpeA*遺伝子を保有していた. PFGE解析で, 3株は同一のパターンを示し, 他の2株も類似のパターンであったことから, これらの株は, 同一のクローンに由来するものと推測された.